

面白いことが大好き！
その理由は、悪い霊が寄ってこないから(笑)。
今回は28歳にして法名を持つ、
ものまねパフォーマー・荻原瑞穂(おぎはらみずほ)さんの
ちょっと不思議でユニークな魅力に迫ります！



もともと歌を歌ったり、ものまねをしたりすることが大好きだった荻原さん。ELTの持田さんの歌まねが似ていると言われたのをきっかけに、中島みゆきさん、中島美嘉さん、大塚愛さん、CHARAさん、ももいろクローバーZなどレパトリーが次々と増え、最近イベントで声を掛けられることも増えたのだそう。「いま旬なのは増産さんです。歌ではないけど、何でも色っぽく話す感じ？イベントのつかみ的にはイモトアヤコさんが一番ですが、イモトで出ちゃうとメイクがそのままだから後が続かないのが悩みです(笑)」

尊敬する芸能人は、キンタロー。さんというあさこさん。「反達には、そんなことしたら彼氏できないよって言われるけど、ドン引きされても、そこを含めて“私”だから」荻原さんがそう断言できるようになったのは、これまでにさまざまな経験を重ねた上でのこと。「実は私、法名があるんです」え？突然の告白に、ますます興味津々！



「私、高校生の頃から原因不明の病気になったり、突然意識がなくなったり、自分ではコントロールできないことが度々起きていたんです。それがきっかけで行きつけ？のお寺があって、4年前にお祓いの意味も込めて法名をいただいたんです」…ん？それが、ものまねと関係あるの？



「そう思いますよね？私にとって身体の異変は警告のようなところがあって、不思議なことにその直後に出会う人やメッセージは、私が次に進むべき道を教えてくれるんです」と荻原さん。



ドン引きされても、私は私。

その出会いは昨年のことでした。うつや引きこもりの経験を持つシンガーの“あなたはあなたのまんまが素晴らしい！”という内容の歌を聴いた時、荻原さんに衝撃が走ります。「私が今やりたいことは、ものまねパフォーマーとして人を楽しませることだと気が付き、そこからは吹っ切れたように“面白いこと”を追及できるようになりました。パフォーマンスで全身タイツを着ると、めっちゃデンプションが上がるんですよ！ピチピチだからお肉がはみ出ちゃうけど気にしない(笑)。それに、楽しいところには悪い霊が近寄りにくいから、体調もよくなるんです」



そんな彼女のもう一つの顔は、調理師免許を持つ“ナチュラルフード研究者”であること。現在は、実家の農家に『加工所Naturaleza(ナチュラルレッサ)』を立ち上げて、無農薬のお米や野菜、お米で作ったメロンパンを通信販売しています。「そのうち、お笑いライブみたいな料理教室も、やってみたいですね。お祈りからは“あんたは将来、尼さんになったら儲かる”って言われてるんですけど(笑)、それが自分のやりたいことの延長線にあるのなら、それもありがたくなって思います」



自分の直感を信じて、やりたいことに全力投球。荻原さんからあふれるエネルギーは、

周囲を一瞬でHappyにする魅力に満ち溢れています。彼女のものまねが法話になる前に、ぜひライブで拝見してみたいです！



Profile
ものまねパフォーマー
荻原 瑞穂
1984年、福岡県飯塚市出身。調理師専門学校を卒業後、ケーキ屋、カフェ、メキシコ料理店などに勤務。病気により実家に戻ったのを機に、無農薬のお米や野菜に興味を持ち『加工所Naturaleza』を立ち上げる。
現在は、ナチュラルフード研究者兼ものまねパフォーマーというユニークな肩書きを武器に、無限の可能性に挑戦中！

